

厚田区地域協議会 教育の概要説明



石狩市立
厚田学園

石狩市立厚田学園の紹介

石狩市立厚田学園

1 これまでの歩み

(1) 本校の概要

石狩管内初の義務教育学校として令和2年4月に開校し、3年目を迎えました。児童生徒は40名。コンパクトであることを「強み」として学校経営を進めています。

本校は、区内閉校した厚田小学校と厚田中学校、聚富小中学校、望来小学校のよき伝統を引き継ぎつつも、未来志向の新たな学校として生まれ変わるという決意のもと、学校づくりが為されてきました。それは単に校名、校種、建物が変わっただけに留まりません。教育活動全般を通じたスクラップ&ビルドによる新たな教育課程の編成により、令和4年度を迎えた今、様々な教育活動が軌道に乗ってきています。厚田学園がハブとなりながら地域との連携、幼保、高、大との連携、他校との連携等を、ダイナミックに進めています。

なお、厚田保育園、あいかぜとしょかんと複合施設というだけではなく、海拔20m以上の高台という立地であり、地域の防災施設（写真右）の機能も有しています。



3階に設けられた防災備蓄倉庫



南西側、アプローチ通路から。手前が昇降口で、あいかぜとしょかん・厚田保育園を1階、義務教育学校を2・3階に配置した複合施設(※)



前期課程普通教室。複式学級のため黒板が両側、照明や電子黒板もそれぞれで使用する。2021（令和3）年度の6年生は国算理社英を教科担任が指導



北西側外観。保育園や図書館の出入口は中央の黒い庇の下、海風を受ける西面は多目的教室を配置。厳しい環境だが眺望は学校自慢(※)



特別教室は前後期共用で家庭科室は調理器具以外可動式。2階の多目的教室も近いので、2か所で同時に会議の場になることもある

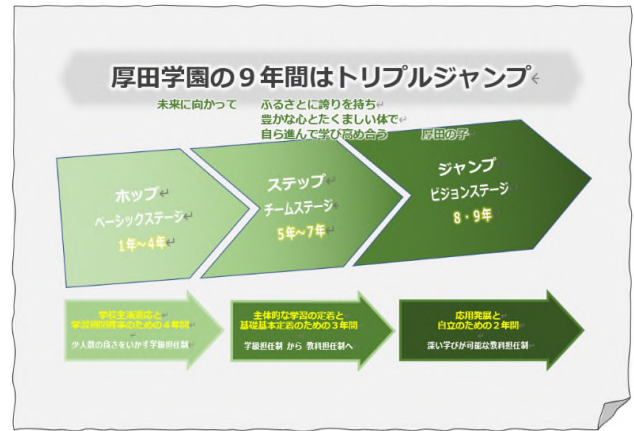
2 厚田学園の特色ある教育活動

(1) ダイナミックな教育課程の編成（4-3-2ブロック制・小中一貫教育の展開）

① 学年ブロック制による教育活動

前期課程と後期課程の枠組みは維持しつつも、日常的な教育活動は、1年生から4年生までをベーシックステージ、5年生から7年生までをチームステージ、8、9年生をビジョンステージと位置づける4-3-2ブロック制をベースに展開しています。職員室の机配置もブロックごととし、教職員の打合せも通常はブロックで行っています。このことにより、小学校から中学校への移行に伴う様々な障壁の軽減が実現しました。

なお、卒業証書は9年間の課程修了時に授与し、前期課程修了時には「前期課程修了証書」を授与しています。修学旅行についても9年次にのみ実施しています。



② 前後期相互乗り入れ授業の展開

一部の教科において前期課程の教員が後期課程の生徒を教え、後期課程の教員が前期課程の児童を教えるという、相互乗り入れ授業を通年で実施しています。教員の専門性が発揮でき、質の高い授業を提供できます。文化部（器楽演奏が主な活動）の指導を前期課程の教員が行う取組も行っています。

③ 6年生教科担任制

6年生の5教科はすべて後期課程の教員が行う教科担任制を導入しています。児童生徒一人一人に寄り添った教科指導、個別最適な学びを実現すべく、教科系統表をもとにした個人ファイルの導入を検討中です。

④ ブロック制を活かした児生会活動

縦割り活動

4年生、7年生、9年生がそれぞれのブロックのリーダーとなり下級生を牽引する仕組みを元に、児童生徒会活動を展開しています。また、縦割り清掃など、少人数のデメ

石狩市立厚田学園「厚田学」計画一覧表

生活科・総合的な学習の時間計画一覧表

縦軸：学年（1～6年）、学期（前期・後期）

横軸：単元（生活科、総合的な学習の時間）

各セル：学習内容、活動、目標

R4 生活科・総合的な学習の時間計画一覧表
別添にて

リットをメリットに替え、リーダーを育成することを目指しています。ピア・サポートの観点からも有効な手立てとして捉えています。

⑤そのほかにも

- ・前期課程児童対象（3年生～6年生）とした部活動体験を実施しています。
- ・1コマの授業は前期課程も後期課程同様に50分としています。前期課程の中休みは設定していません。

(2) 厚田学（生活科・総合的な学習の時間）

ふるさと厚田への深い理解と厚田愛の醸成を通して、ふるさとや自分自身の将来を展望する態度を養い、地域や社会へ貢献できる人を育むことを目的に、「厚田学」を中心としたふるさと教育を推進しています。9年間の学びの系統性を重視しながら、地域資源や人材の活用、異学年交流等を通して厚田愛を育むだけでなく、多様な人との関わりによる多様な価値観の享受、表現力・コミュニケーション力の育成を目指しています。

(3) 厚田コミュニティ・スクール

①厚田CSについて

令和元年度のCS準備委員会を経て令和2年度に正式発足し、今年度で3年目となります。3つの部会で構成されており、活動内容の検証と改善を繰り返しながら、充実した取組へと進化しています。めざす子ども像と活動スローガンを以下のように掲げています。

【めざす子ども像】

- ・ふるさと厚田に誇りを持ち、夢や希望の実現に向けて努力する子
- ・互いに認め合い、助け合いながら自らを高め、個性を伸ばす子
- ・より高い目標を設定して、高い意思を持ち、努力する子
- ・自ら課題を持ち、進んで課題解決に取り組む子

【活動スローガン】

『子どもの夢を地域みんなで支えよう』

～厚田に誇りを持ち「チャレンジする心」を育む～

②厚田CSの取組

○地域コーディネート部

- ・CSあいさつ運動 … 年6回第3月曜日に実施
- ・CS防災訓練 … 地域と学校連携による津波想定防災訓練
- ・愛着心、郷土愛の醸成
… 令和3、4年度は道の駅「Home」との共同開発ピザの販売を実施。今後、他の店舗とのコラボも検討していきます。また、令和4年度は厚田キャンプ場とのコラボも計画中です。

○学校支援部会

- ・厚学サポート隊の募集…学習支援員の発掘
- ・8年生職業体験学習の事業所仲介

- ・厚田文化祭の取組支援
- ・ソクラテスミーティング（キャリア学習講話等）の企画
- ・スキー練習場の整備

○広報部会

- ・広報誌の発行
- ・ソーシャルメディアガイドラインの確認
- ・SNS を活用した情報発信

(4) 幼保・小中・高・大連携

併設されている厚田保育園、聚富保育園、くるみ保育園（認定こども園）の職員と定期的
に交流を行っています。保育士の方に前期課程の学習の様子を見てもらい、担任等と児童に
ついて交流する機会も設けています。この取組により、スタート・カリキュラムが円滑に実
施できています。また、高校の教員による出前授業、藤女子大学学生による SAT の受け入れ
や研究協力等を行っています。

		
CSあいさつ運動	CS防災訓練	ソクラテスミーティング

3 その他

(1) 行事

①陸上記録会と学習発表会

コロナ禍前は学校の運動会と地域の運動会を合同で行っていましたが、開校以来、新型コ
ロナ感染拡大防止のため、様々な制限の中で陸上記録会を実施しています。地域の運動会につ
いては中止が続いています。学習発表会については、児童生徒の発表に加え、地域の方々の
作品を展示する取組をしています。

②旅行的行事

- 9年生…修学旅行（関東方面、横浜にて厚田 PR と商品販売会を実施）
- 8年生…宿泊研修（札幌市、大通公園にてマスクとコラボピザ販売会案内の配布）
- 5～7年生…宿泊研修（千歳方面、新千歳空港・JAL 見学・北黄金貝塚見学）

(2) 地域貢献の取組

- ①厚田朝市の看板作成と設置
- ②道の駅とのコラボ（ピザ販売、英語作品展示、商品販売会）

③地域行事への協力、参画（竹灯籠づくりと設置、厚田あきあじまつりの生徒会企画）

④地域振興企画（あつたび、北石狩地域観光まちづくり協議会からの支援）

		
厚田 PR と販売会 （9年生・横浜）	マスク配布 （8年生・大通公園）	道の駅とのコラボ （6年生・英語の授業）

4 これからの厚田学園

（1）石狩管内初の義務教育学校として

本校の最大の強みは義務教育学校だということです。教育課程をダイナミックに編成し、実施してきました。また、地域にとっては唯一の学校として、厚田ならではの教育を展開してきました。道内では義務教育学校への移行を検討している自治体が多いと聞いています。視察団を積極的に受け入れ、本校の取組を可能な限りお伝えしていきます。

（2）求められる資質・能力と地域貢献の態度をバランスよく育む

学校の本分は「これからの社会に求められる資質・能力の育成」にあります。教科指導に力を入れ、不断の授業改善に取り組むことが第一義です。道徳教育やふるさと教育とのバランスをとるとともに、教科等横断的な視点も持ちながら、教育課程を整理しブラッシュアップしていきたいと考えています。

		
パートナーズクールとの交流 （5. 6年年生）	宿泊学習 （5～7年生・新千歳空港）	陸上記録会 （1年生・がんばりのことば）